

24秋	科目名	担当者 (ふりがな)	曜日・時限	教室	目標	内容	テキスト	成績評価法
1	日本語1総合B	桂 千佳子 (かつら ちかこ)	月曜・2限	N305	自分と相手の個性、自分と相手の文化的背景を考慮しながら、日本語での確かつ自由なコミュニケーションが行えるようになる。	「問」のスタイルを生かして、多様な側面からの対話を繰り返しながら、自分を知り、伝える。また、聞き手の立場では、相手の語りへの問いかけを通して、相手を知っていく。その上で、自己PRをする。 さらに、問の中の表現を変えることで視野および思考を広げながら、社会課題について自分なりの視点で説明できるようにする。 授業時にはアクティビティをすることが多いので、欠席しないようにすること。	プリント配布	授業での取り組み40%、提出物 (Teamsの課題提出) 30%、発表30%
	日本語1会話B	工藤 聖子 (くどう せいこ)	火曜・1限	N102	複雑で、抽象的なことが話せ、相手や場面に応じた適切な話し方ができる。まとまった内容の抽象的な談話、専門的な談話が理解できるようになる。	日本語によるポスター発表、PPT発表等を通し、日本語によるプレゼンテーションや、スピーチ、ディベート、などを行なう。 内容に関しては、調査や日本人学生との活動を通して収集したデータ・情報をもとに構成する。 ピア活動やグループ活動を通し、どのような内容・形式・方法によるプレゼンテーションが効果的かを受講生間で吟味・検討する。 プレゼンテーションの方法、テーマについては、受講学生の関心に応じて設定するため、24Aの授業内容とは異なる。 また、場面に応じた表現、敬語についても扱う。	プリント配布	授業での取り組み40%、提出物30%、発表30%
	日本語1講読B	新谷 あゆり (しんや あゆり)	金曜・1限	N105	複雑で抽象的なもの、論理的なもの、専門的なものが読めるようになる。	短編・長編小説を展開や結末を想像しながら読む。小説の結末を書く。語彙・表現を学習する。	『阪急電車』有川浩 (ありかわ ひろ) 幻冬舎文庫	参加度 (出席・授業態度・課題) 60% 小テスト・期末テスト40%
	日本語1作文B	横山 和子 (よこやま かずこ)	月曜・3限	N306	複雑で抽象的なもの、論理的なもの、専門的なものが書けるようになる。	・各自テーマ (＝伝えたい事柄) を決めて論理的な文章を書いていく。具体的には説明文・意見文を中心にこれらに必要な表現 (図表の説明の仕方、引用の仕方、など) を学ぶ予定であるが、受講生のニーズによっては論文作成に関する事柄も扱う可能性がある。 ・授業では各自書いた作文をお互いに読み合い、意見交換をすることで自己修正力やテーマについての理解を深める。 ・この授業を受けたことがある場合、自分で選ぶテーマは基本的に以前と異なるものにすること。 ・同じテーマで書きたい場合、そのテーマで以前書いた文章の反省点を踏まえた上で、より深い内容、あるいは視点を変えた文章にすること。	プリント配布	授業への参加度20%、課題提出30%、文章50% (内容・日本語の正確さ)
	日本語1文法B	岡 智之 (おか ともゆき)	水曜・2限	N301	上級の文法項目を習得する。	テキストを各回2課ずつすすめていく (春学期の続き、第2部第26課から)。テキストの「話してみよう」の会話づくりを宿題にして、次回の最初に検討していく。	『マンガで学ぶ日本語上級表現使い分け100』、アルク	授業への参加度・宿題50%、期末テスト50%
	日本語1漢字B	坂田 睦深 (さかた むつみ)	火曜・2限	N313	1000字程度の漢字およびそれを使った語彙の運用力をつける。	・テキストの奇数課1、3、5、7、9、11、13課から6つの課を学習する予定。 ・前の週で、「力だめし」と「問題・確認」と「要点」を学習。次の回で要点までのところでクイズ。翌週は「練習」を行う。「課題」の部分は行わない。「練習」部分は手書きで自宅で行い、翌週答え合わせをしたあとに提出する。 ・最後の発表ではペアかグループになり、各課の学習漢字から自分が紹介したい漢字を選び、5分程度で発表する。ただし、受講者の人数で変更がある。	『Intermediate Kanji Book, Vol.2 第3版、または第4版』(BONJINSHA)	各課のクイズ、期末テストで40%、課題 (練習) 30%、発表と平常点30%の予定。
	日本語1聴解B	増田 里香 (ますだ りか)	木曜・1限	N313	複雑で抽象的な談話の流れが聞き取れるようになる。	アカデミックな内容の講義やスピーチ及びニュースやインタビューなど様々な種類の聴解練習をする。聞く力だけでなく、聞いた内容をまとめ、要約する力を養う練習も行ったり、重要な言葉や表現について学習したりする。言葉や表現については小テストを行う。 クラス後半では、受講者それぞれが用意した音声データ (ラジオ、テレビ番組など) を使って、聞き取った内容をまとめたり質問に答えたり、ディスカッションする時間を設ける予定である。	プリント配布	課題・発表 30%、小テスト・期末試験 40%、授業参加度30%

日本語 1 特別演習 B [ドラマで学ぶ日本語]	宮本典以子（みやもと ていこ）	水曜・1限	N313	まとまった内容の抽象的な談話の 流れが理解できるようになる。自 分の考えが伝えられるようになる。	ドラマや映画を鑑賞し、実践的な話し言葉を学ぶ。取り上げる作品は、学園 をテーマとしたものを中心とする予定。授業前半の活動（語彙・漢字・言語 表現等の学習）はピア活動を基本とする。日本のドラマについてのプレゼン テーションも行う。作品ごとのフィードバックシートやプレゼンテーション 資料等を提出する。	プリント配布	授業参加度40%、提出物40%、 発表20%
日本語 1 特別演習 B [ビジネスで学ぶ日本語]	福島 恵美子（ふ くしま えみこ）	木曜・2限	N313	ビジネスに必要な日本語の表現を 身につけ、ビジネス現場で求めら れるコミュニケーション能力を養 う。	仕事をする上で必要な報告、連絡、感謝、謝罪、商品説明、企画などのビジ ネスコミュニケーションについて学習する。1月には発表を行うが、テーマ については相談して決める。	プリント配布	授業参加度（出席・授業態度） 40%、課題20%、テスト20%、 発表20%
日本語 1・2 プロジェク ト B	伊能 裕晃（いのう ひろあき）	月曜・1限	N313	日本人学生とのディベートやグ ループ活動を通して、日本語の総 合的な運用能力を高める。	この授業では、日本人学生と一緒に日本語でディベートを行う。最初に、日 本語でディベートを行う方法を基礎から学んだあと、学期の前半は、身近な テーマでディベートを行う。学期の後半には、現代社会の様々な問題につい て、資料を調べ、準備をして、ディベートを行っていく。学期の途中で、生 成 A 1 を使ったディベートの練習なども行う。この授業は学芸大の日本人学 生のための授業「学芸フロンティア科目 F」と合同で行われる。	プリント配布	授業への参加度(出席、授業態 度)40%、課題30%、ディベート の評価30%
日本語 2 総合 B	横山 和子（よこやま かずこ）	月曜・2限	N313	他者との考えや意見のやりとりを 通して、「自分の考え」を自分自 身でつかみ、他者にわかるように 表現していくという形で、日本語 での表現力をつけていく。	前半は「異文化コミュニケーション」「公共の場でのマナー」「自分史」の 3つのテーマについて、後半はクラス受講学生の関心のあるテーマについ て、図書、新聞記事、統計資料などを読み、現代日本社会についての理解を 深めます。内容を予測しながら文章を読む力、読みとった内容を日本語で表 現する力、物事に対する自分の意見を論理的に述べる力をつけることを目指 します。	プリント配布	授業への積極性50%、活動(内 容・日本語)50%
日本語 2 会話 B 1	坂田 睦深（さかた むつみ）	火曜・1限	N313	自分の考えや気持ちを伝えること ができるようになる。具体的なま とまった談話が理解でき、抽象的 なものも流れが理解できるよう になる。	コースの前半は、教科書のUnit01, 02, 05, 06を中心に自己紹介、インタ ビュー、ディスカッションを行う。後半は教科書のUnit03, 04を参考にしな がら、2～3分スピーチを行う。ミニ・ディスカッションもしながら、最終 的には5分以上のプレゼンテーションを行う予定。	『もつと中級 日本語で挑 戦！スピーチ&ディスカッ ション』（にほんごの凡人 社）	学期末プレゼンテーション 10%、その他の課題60%、授業 内の小討論やショート・スピー チなどの参加度で30%とする。5 回欠席で不合格となる。
日本語 2 会話 B 2	荒巻朋子	木曜・3限	N313	自分の考えや気持ちを伝えること ができるようになる。具体的なま とまった談話が理解でき、抽象的 なものも流れが理解できるよう になる。	日常会話がスムーズに行えるような活動や日本人に対するインタビュー活動 を行う。またテーマを決めてプレゼンテーションやディスカッション等も行 う。学期中に課題、試験がある。	プリント配布	試験・クイズ：20%、課題・発 表：50%、授業参加度30%
日本語 2 作文 B 1	許 夏玲（ふい はーり ん）	月曜・3限	N305	自分の意見を述べ、待遇表現が使 えるようになる。	様々な文章のスタイル、書き方を学ぶと同時に、日本語の文章を書くために 必要なルールや表現を学ぶ。課外の時間でインターネットを使用して、ディス カッションを行ったりすることがある。	プリント配布	授業への参加度（出席含 む）50%、宿題30%、課題レポー ト20%
日本語 2 作文 B 2	増田 里香（ますだ りか）	木曜・2限	N206	自分の意見を述べ、待遇表現が使 えるようになる。	日本語の文章を書く際のルールを確認しながら、読み手を意識した文章の書 き方を練習する。具体的には事実と意見の区別、引用の仕方についての学 習、及び定型的な書き方にそってメールやメッセージを書く練習を行う。作 文を書いた後は、クラスメートと作文を読み合い、読み手に伝わる文章の書 き方についても考えていく。自分の文章を書き直す力を身につけるため、作 文は毎回、「提出ー書き直しー再提出」のサイクルで書く。	プリント配布	授業参加度（出席・話し合いへ の参加）30%、作文50%、期末 課題20%
日本語 2 文法 B	小池 恵己子（こいけ えみこ）	木曜・1限	N305	中級後半～上級の文法項目を習得 する。	意味や形が似ている表現や文型の違いを理解し、使い方を学びます。自 分で理解できているかどうか、文を作ってみよう。作った文をグループ で検討する。また、新聞の記事を読み、実際に使われている表現や文型 を文法的に説明してみよう。	『くらべてわかる中級日本語 表現文型ドリル』Jリサーチ出 版	試験60%、課題・提出物20%、 授業への参加度（グループ活 動・課題への取り組み・出席） 20%

3	日本語2 漢字B	李 琦（り き）口	火曜・2限	N306	750字程度の漢字とその漢字を使ったことばを学習し、運用できるようにする。	漢字の意味やその漢字を使ったことばの意味と使い方を学ぶ。今学期は、教科書の1課、3課、5課、7課、9課を学習する。だいたい2回で1課学習する。授業では、学んだ漢字から語彙（ごい）を広げて、文を作り、グループやペアで調べて、発表などをする予定。	『Intermediate Kanji Book 漢字 1000 Plus, Vol.1』凡人社[改訂第3版]	授業参加度40%、提出物40%、期末試験 20%
	日本語2 講読B	稲田 直子（いなだなおこ）	水曜・1限	N306	具体的な文章内容で、ある程度の長さの文章が読めるようになる。	新聞記事・短編小説・短いレポートなど、さまざまなジャンルの読み物を読む。また、読んだ文章の内容をまとめたり、意見交換したり、短い文章を書いたりする。クイズ、宿題の提出にはMicrosoft Teamsを使用するので、パソコンかタブレットを持ってくる。	プリント配布	授業参加度（出席・話し合いへの参加）30%、クイズ 20%、宿題の提出 30%、期末試験 20%
	日本語2 聴解B	新谷 あゆり（しんやあゆり）	金曜・2限	N313	具体的なまとまった談話が理解でき、抽象的なものも流れが理解できるようにになる。	スピーチ・発表・ニュースなどを聞いて、内容を理解する練習をする。ディクテーションと漢字の読みの試験も実施する。	プリントを配布	平常点（出席・参加度・課題）30%、小テスト・期末テスト70%
	日本語2 特別演習B [マンガで学ぶ日本語]	宮本典以子（みやもとていこ）	水曜・2限	N313	話し言葉やマンガ特有の表現が理解できるようになる。	マンガやアニメの鑑賞（かんしょう）を通して、よく使う話し言葉を学ぶ。主に「学園」をテーマにした作品を扱（あつか）う予定。言語表現の学習等はピア活動とする。授業のはじめにマンガの多読タイムを取る。また、日本のマンガについての発表、交流を行なう。作品ごとの振り返りシート、まんが多読シート、発表資料を提出する。	プリント配布	授業参加度40%、提出物40%、発表20%
	日本語2 特別演習B [ビジネスで学ぶ日本語]	笹目 実（ささめ み のる）	月曜・4限	N313	どのようなビジネス場面でどのように話すのかを学ぶ。ビジネス場面でよく使われる文型や表現を学ぶ。	就活の場面でどのような会話をするのか、モデル会話で学ぶ。ビジネス場面などで使用される文型や表現に慣れる。ケーススタディとしてロールプレイをする。自国の就職やビジネスについて発表する。	プリント配布	授業参加度40%、発表40%、語彙と表現の小テスト20%
	日本語2・3 特別演習B [多読]	桂 千佳子（かつらちかこ）	金曜・1限	N313	辞書（じしょ）や参考書（さんこうしょ）を見ないで、母語（ぼご）にやさないで、日本語を「勉強することば」から「自分で使えることば」にする。	4つのルールを守（まも）って、「多読の読み方」で教室にある好きなものを読みます。わからないことばがあっても辞書（じしょ）で調（しら）べません。メモもしません。「楽しい気持ち」で、どんどん読む「多読（たどく）」をします。読書記録をつけ、「おすすめの読み物」はみんなに発表（はっぴょう）し、その中から面白そうなものを読む「ブックトーク」もします。読みものは、「みんなで共有（きょうゆう）できるもの」とします。	*読むもの ①教室に準備してある本 ②授業時に紹介したサイトなど （自分だけの本は読みません）	読書記録（どくしょきろく）25% 授業時の取り組み（とりくみ）25% ブックトーク（発表）25% 学期末プロジェクト 25%
	日本語3 総合B 1	伊能 裕晃（いのうひろあき）	水曜・1限	N305	初級後半から中級の文法や語彙を覚えて、それを使えるようになる。	日本語の中級の文法（ぶんぽう）や言葉（ことば）をおぼえて、使えるようになるように、いろいろな練習（れんしゅう）をします。毎回、教科書（きょうかしょ）を読んで、予習（よしゅう）をしてきてください。かならず日本語3 総合「B1」と「B2」の両方のクラスに出てください。	『中級へ行こう 日本語の文型と表現 55 第2版』スリーエーネットワーク	授業への参加度（出席・授業態度）40%、宿題 20%、テスト40%
3	日本語3 総合B 2	伊能 裕晃（いのうひろあき）	水曜・2限	N305	初級後半から中級の文法や語彙を覚えて、それを使えるようになる。	このクラスの目標（もくひょう）は、中級の文法や言葉（ことば）を使って、自分の考えていることを日本語で表現（ひょうげん）できるようになることです。読んだり、聞いたりしたことを、書いたり、話したりできるように、毎回、いろいろな練習（れんしゅう）をします。かならず日本語3 総合「B1」と「B2」の両方のクラスに出てください。	『中級へ行こう 日本語の文型と表現 55 第2版』スリーエーネットワーク	授業への参加度（出席・授業態度）40%、宿題 20%、テスト40%
	日本語3 会話B	李 琦（り き）	火曜・1限	N305	具体的なことが説明できるようになる。日常的で具体的な談話が理解できるようにになる。	ロールプレイを通じて会話を練習します。さらに、日常生活でよくある場面を想定（そうてい）し、買い物やレストランの予約などの会話練習も行います。スピーキングの練習を通じて、円滑（えんかつ）な会話ができるようになることを目指します。	プリント配布	授業参加度50%、期末テスト50%
	日本語3 講読B	福島 恵美子（ふくしま えみこ）	木曜・3限	N306	日常的で長くない文章が読めるようになる。	物語（ものがたり）、エッセイ、新聞記事（しんぶんきじ）などの様々な文章を読み、内容を理解する力を身につける。また、文章の中の表現について学んだり、テーマについて話し合ったりする。	プリント配布	授業参加度（出席・授業態度）40%、課題20%、テスト40%

4	日本語3 作文B	桂 千佳子（かつら ちかこ）	金曜・2限	S310	具体的で、ある程度まとまりのある文章が書けるようになる。	友だちと話しながら作文の内容を考えます。それから作文を書きます。身近なテーマを取り上げます。一度提出し、チェックされたら、書き直してみましょう。	『書くことを楽しむ中級作文』杉浦千里・木戸光子 (2020) 凡人社	授業での取り組み50%、作文提出50%
	日本語3 文法B	荒巻朋子（あらまき ともこ）	木曜・2限	N305	中級前半の文法項目を習得する。	学生のレベルによって、必要なら初級の重要な文法を復習し、その後中級前半の文法表現を学びます。学期中に小テストや宿題、課題があり、中間・期末試験を行います。	プリント配布	試験50%、課題・小テスト30%、授業参加度20%
	日本語3 漢字B	石崎晶子（いしざき あきこ）	火曜・2限	S206	基本（きほん）漢字400～500を学ぶ。	テキストの第35課から第45課の読み方・書き方・使い方を勉強します。勉強の方法や、好きな漢字について発表（はっぴょう）をします。毎回、宿題と小テストがあります。	〔新版〕『Basic Kanji Book—基本漢字500』 vol.2, 凡人社	小テスト 40%、宿題 40%、授業参加度 20%
	日本語3 聴解B	笹目 実（ささめ み のる）	月曜・3限	N313	日常的で具体的な談話が理解できるようになる。	聴解（ちょうかい）を中心にしますが、話すこともします。「感想を述べる」など日常生活の場面において、話している人との関係やトピックの聞き取りをします。「ロールプレイ」をします。語彙や表現の小テストをします。24Aで使用した範囲と異なります。	『新版 聞いて覚える話し方 日本語生中継 初中級1』くろしお出版	授業参加度40%、課題40%、小テスト20%
	日本語4 総合（文法）B 1-4	今井 美登里（いまい みどり） 宮本 典以子（みやもと ていこ）	火曜1・2限 木曜1・2限	N312	初級後半の文法項目（こうもく）を習得（しゅうとく）する。	テキストを使って初級後半の語彙（ごい）や文法項目（ぶんぽうこうもく）を理解し、使うことができるように練習する。	『できる日本語 初中級 本冊』『できる日本語 わたしの文法ノート 初中級』アルク	授業活動（じゅぎょうかつどう）への参加度（さんかど）40%、宿題（しゅくだい）10%、テスト・クイズ50%
	日本語4 漢字B	荒井 直美（あらい なおみ）	金曜・1限	N312	基本（きほん）漢字300～400を学ぶ。	漢字（かんじ）の読（よ）みと書（か）きと意味（いみ）の練習をします。1回（かい）に1課（か）勉強（べんきょう）します。毎回（まいかい）小（しょう）テストをします。	（新版）BASIC KANJI BOOK—基本漢字500— VOL.2（第2版）、凡人社（ぼんじんしゃ）	授業参加度（じゅぎょうさんかど）30%、宿題（しゅくだい）20%、小テスト・中間（ちゅうかん）テスト・期末（きまつ）テスト50%
	日本語4 聴解B	桂 千佳子（かつら ちかこ）	月曜・1限	N312	日常（にちじょう）の短い会話や説明が聞けるようになる。	インターネットにあるやさしい日本語をたくさん聞（き）きます。クラスのときだけでなく、毎日（まいにち）聞（き）く宿題（しゅくだい）が出（で）ます。5分でいいですから、聞（き）きましょう。その宿題で聞いたら、クラスメートと話（はな）します。	Webサイトーウェブサイトの素材を利用する。	授業での活動 50% 宿題（しゅくだい）のログ？ 50%
	日本語4 会話B	荒井 直美（あらい なおみ）	月曜・2限	N312	日常（にちじょう）の会話コミュニケーションができるようになる。	勉強（べんきょう）した言葉（ことば）や文型（ぶんけい）を使（つか）って、いろいろな場面（ばめん）の会話（かいわ）を練習（れんしゅう）します。	プリントを配（くば）ります。	授業参加度（じゅぎょうさんかど）50%、課題（かだい）・会話（かいわ）練習（れんしゅう）の取り組み（とりくみ）50%
	日本語4 講読B	江口 典子（えぐち のりこ）	金曜・2限	N312	日常的（にちじょうてき）で長くない文章が読めるようになる。	解説文（かいせつぶん）、物語（ものがたり）、インタビューなど様々（さまざま）な文章（ぶんしょう）を読（よ）みます。語彙力（ごいりょく）を増（ふ）やします。	プリントを配（くば）ります	授業参加度（じゅぎょうさんかど）30%、課題（かだい）30%、小（しょう）テスト・期末（きまつ）テスト40%
	日本語4 作文B	小西 円（こにし まどか）	水曜・2限	N312	ある程度まとまりのある文章が書けるようになる。	メインテキストの中（なか）の「話読聞書」を使（つか）って作文（さくぶん）を書（か）きます。また、日常的（にちじょうてき）なことをテーマにして書（か）きます。言葉（ことば）や文法（ぶんぽう）も勉強（べんきょう）しながら作文（さくぶん）を書（か）きます。簡単（かんたん）な文（ぶん）から少（すこ）し長（なが）い文（ぶん）や文章（ぶんしょう）を書（か）きます。文章（ぶんしょう）の構成（こうせい）も大切（たいせつ）にします。	『できる日本語 初中級 本冊』、プリントを配（くば）ります	授業参加度（じゅぎょうさんかど）50%、小（しょう）テスト・課題（かだい）50%

5	Level 5 Japanese Comprehensive B	EGUCHI Noriko SUZUKI Mieko	1st & 2nd periods on Monday and Thursday	N310	To acquire basic knowledge of Japanese grammar	Learning basic Japanese grammar skills and doing practices with drills, exercises, Q & A, etc.	(1)Self-Study Kana Workbook 3A CORPORATION (2) GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese I Third Edition (the japan times) (3) GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese I Third Edition Work book (the japan times)	Class participation 40%, Assignments 20%, Short Quizzes and Tests 40%
	Level 5 Kanji B	INADA Naoko EGUCHI Noriko	2nd period on Wednesday and 1st period on Friday	N310	To acquire basic knowledge of Japanese Kanji characters	Learning basic Kanji and doing practices with drills, exercises, Q & A, etc.	Basic Kanji Book Vol.1 (2nd edition) (Bonjinsha)	Class participation 30%, Assignments 20%, Short Quizzes and Tests 50%
	Level 5 Reading B	ARAI Naomi	Second period on Friday	N310	To acquire basic reading skills of Japanese for daily life	Learning basic Japanese reading skills and doing practices with drills, exercises, Q & A, etc.	GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese I Third Edition (the japan times) and handouts.	Class participation 50%, Quizzes & Assignments 50%
	Level 5 Composition B	KUDO SEIKO	Second period on Tuesday	N310	To acquire basic writing skills of Japanese for daily life	Learning Basic Japanese writing skills and doing exercises with drills, quizzes, etc.	Distribute handouts	☐ Class participation 40%, Assignments 40%, Quizzes 20%
	Level 5 Conversation B	INADA Naoko	First period on Tuesday	N310	To acquire basic communication skills of Japanese for daily life	Learning basic Japanese words and phrases, and practicing with dialogues. Doing role-play and some tasks, and talking about our everyday lives together.	Distribute handouts	Class participation 40%, Assignments 40%, Final presentation 20%

